

## ネイティブバキシニアウイルストポイソメラーゼ I

Cat. No. NATE-0708

Lot. No. (See product label)

### はじめに

#### □明

トポイソメラーゼIは、超螺旋状のDNA分子を緩めます。この酵素は、閉じた環状DNAの超螺旋ターンにおいて、一時的な切断とリン酸ジエステル結合の再結合を開始します。酵素の活性は、右向きおよび左向きの超螺旋に依存しません。

#### 用途

酵素活性は2.5 mM Mg<sup>2+</sup>の存在下で増加します。バキニアウイルス由来のトポイソメラーゼIは、複製、転写、組換えなどの重要な生物学的プロセスや、クロマチンの再構成やDNAの超らせんの度合いを含むDNAの構造とトポロジーを研究するために使用できます。さらに、この製品はDNAのコイルを緩め、制限部位を露出させることで、耐性DNAの制限内因性ヌクレアーゼ消化を促進します。また、長さがわずかに1塩基異なる異プラスマドのアッセイにも使用されます。

#### 別名

トポイソメラーゼ I; EC 5.99.1.2; タイプ I DNA トポイソメラーゼ; アンツイスト酵素; リラクシング酵素; ニッキング-クローズ酵素; スイベルエース;  $\omega$ -タンパク質; デオキシリボ核酸トポイソメラーゼ; トポイソメラーゼ; タイプ I DNA トポイソメラーゼ; DNA トポイソメラーゼ; TOPO I

### 製品情報

#### 由来

ワクチニアウイルス

#### 形態

緩衝水溶液; 50 mM Tris HCl、pH 7.5、100 mM NaCl、1 mM EDTA、1 mM DTT、0.1% Triton X-100、および50%グリセロールを含む溶液。

#### EC番号

EC 5.99.1.2

#### CAS登録番号

80449-01-0

#### 分子量

mol wt 32 kDa

#### 単位定義

1ユニットは、37°Cで1時間以内にスーパコイル状の閉じた円形（フォルムI）pUC19 DNAの1μgをリラックスした閉じた円形（フォルムII）に変換します。

### 保管・発送情報

#### 保存方法

-20°C